

タイトル「**2021年度危機管理学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。

[戻る](#)

| | | | |
|----------------|---|------|----|
| 科目ナンバー | RMGT/SSCS1706 | | |
| 科目名 | 英語VI | | |
| 担当教員 | 金子 利雄 | | |
| 対象学年 | 3年,4年 | 開講学期 | 前期 |
| 曜日・時間 | 木3 | | |
| 講義室 | オンライン | 単位区分 | 選必 |
| 授業形態 | 演習 | 単位数 | 1 |
| 科目大分類 | 総合教育科目 | | |
| 科目中分類 | 総合基礎 | | |
| 科目小分類 | 7 語学 | | |
| 科目の位置付け (開発能力) | <p>■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連</p> <p>D P 1 - D (市民的素養・市民的教養) 市民的素養と参加コミュニティに積極な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。</p> <p>D P 2 - A (日本の精神文化を理解し多様な価値観を受容する姿勢) 地球的視点で物事を多面的に捉え、異文化との交流の重要性を認識するとともに、異文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し互恵関係を構築することができる。</p> <p>D P 3 - H (論理的思考力・批判的思考力) 理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。</p> <p>D P 4 - I (理解力・分析力) 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。</p> <p>D P 6 - K (表現力・対話力) 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。</p> <p>■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコンルーブリック (C P) との関連</p> <p>D 1 市民的素養と参加 (10%)</p> <p>A 1 グローバル感覚 (5%)</p> <p>A 2 異文化適応 (5%)</p> <p>H 1 論理的思考 (10%)</p> <p>I 1 理解・分析と読解 (20%)</p> <p>K 1 ライティング・コミュニケーション (25%)</p> <p>K 2 オーラル・コミュニケーション (25%)</p> | | |
| 教員の実務経験 | | | |
| 成績ターゲット区分 | <p>■ 能力開発の目標ステージとの対応</p> <p>2 進時期~4 定着期</p> | | |
| 科目概要・キーワード | <p>初年次で遊養された英語の知識や技能を基に、より発言的な英語能力の養成を目的とします。端的かつ論理的に英文を書くことと人前で自分の意見を述べることを関連付けた授業を行います。また、必要に応じてe-learningを活用し、情報収集や表現方法についてリサーチするスキルも学び、説得力のある資料作成スキルを身に付けます。授業は習熟度別クラス編成により演習形式で実施され、学修の目標設定と到達度確認には TOEIC L&R IP テストが利用されます。</p> <p>This course is designed as a follow-through in honing students' presentation skills and academic writing. Lessons in academic writing are intended as preparation for students' individual and group presentations. Aside from presentation and writing skills, students will also partake in research exercises, as well as workshops in confidence building and material preparation as supplementary in delivering effective presentations in both in-class and online settings.</p> <p>(キーワード) ライティング・スピーキング・英語コミュニケーション</p> | | |
| 授業の趣旨 | <p>副題 Academic writing & presentation</p> <p>This class is composed of English Writing and English Presentation</p> <p>英語の文章と口頭によるプレゼンテーション力を身に付けるために、その基礎となる語彙力、文法、発音のメカニズム、発話内容の伝達方法、構成法などを、トップアスリートのプロフィールを参考にしながら、身につけます。</p> | | |
| 総合到達目標 | <p>■ 一般目標 (GIO) 英語プレゼンテーションを行うための、基礎的な語彙力、文法、発音のメカニズム、発話内容の構成や技法について理解できる。</p> <p>■ 個別行動目標 (SBOs)</p> <p>1. プレゼンテーションを行うため、基礎的な語彙力を身につける。(第1,3,5,6,9,10回)</p> <p>2. プレゼンテーションを行うため、基礎的な文法を理解し、応用できる。(第4,7,11,14,15回)</p> <p>3. プレゼンテーションを行うため、基礎的な発音のメカニズムを理解し、発音できる。(第2,5,8,9,13回)</p> <p>4. プレゼンテーションを行うため、構成に沿った英文を書き、プレゼンテーションをより自然な流れで展開することができる。(第3,4,6,7,8,10,11,14,15回)</p> <p>5. ノンバーバル・コミュニケーション (姿勢、目線、声量、身振り手振り) の重要性を理解し、実践できる。(第1,3,4,6,7,8,9,12,13,14,15回)</p> | | |
| 成績評価方法 | <p>(適応ルーブリック)</p> <p>D1:10%、A1:5%、A2:5%、H1:10%、I1:20%、K1:25%、K2:25%</p> <p>(成績評価手段)</p> <p>■ 授業内テスト In class test (Google Forms 第15回 test) (50%) (評価の観点) 期限内に提出を行ったか、授業内で学習したプレゼンテーション知識が身についているか。 (フィードバック方法) 授業内で講評を行います。</p> <p>■ 授業時間外課題 (Goole Forms各課題) (30%) (評価の観点) 与えられた課題に積極的に取り組み、決められた期間内に回答し、正答率から授業に真面目に取り組んで得ることが分かる。 (フィードバック方法) 授業内で講評を行います。</p> <p>■ TOEIC L&R IPテスト (20%) (評価の観点) TOEIC L&R IPテストのスコアを評価する。 (フィードバック方法) 学生は、試験終了後、獲得スコアとアドバイスを確認できる。</p> | | |
| 履修条件 | 英語Vを同時に履修すること。 Students must take English V alongside this course. | | |
| 履修上の注意点 | <p>1. レッスントピックやマテリアルはクラスのレベルと授業の進度により変更になる場合があります。詳細は授業内でお知らせします。</p> <p>2. シラバスを確認し、必ず予習をして授業の臨むこと。</p> | | |

| | |
|-------------|---|
| | 3. 課題を決められた期間内に提出すること。課題提出をもって出席と取り扱います。正当な理由があり、課題提出が出来なかった場合には、躊躇無く担当教員へ Streamで連絡すること。 4. 課題提出は、自己管理すること。何回提出したか担当教員に尋ねるような姿勢は自主創造に反する。 |
| 授業内容 | |
| 関連科目 | 英語Ⅴ (RMGT/SSCS 1705)、英語Ⅶ(RMGT/SSCS 1707)、英語Ⅷ(RMGT/SSCS 1708) |
| 教科書 | 英語教育研究会 『トップアスリートと学ぶ基礎英語/English Learning with Athletes』、開文社出版、2021、ISBN 978-4-87571-737-9 |
| 参考書・参考URL | 授業内で適宜プリントまたはデータにて配布します。 |
| 連絡先・オフィスアワー | 質問には、Google ClassroomのStreamで対応します。 |
| 研究比率 | |

